

「ダメ。ゼッタイ。」 薬物乱用“3ない宣言”

持たない

やらない

近寄らない

私たちは、薬物乱用防止の啓発活動も行っています。近年薬物事件は低年齢化が進んでいます。

育成の行事に合わせて小中学生のみなさんに薬物の恐ろしさを知ってもらうために、薬物について学ぶ研修にも参加しています。

今年度の研修が行われた東京都薬用植物園では、研究のため一般には栽培が禁止されているケシが、厳重な管理のもとに育てられています。ケシからはあへんが作られ、さらに精製されて医薬品にも使われます。



↑ケシの実
(東京都薬用植物園)

↓プラネタリウムイベントでの
広報・啓発活動



健やかだより



すべての青少年が健やかに成長して行くことは私たち大人の願いであり、安心できる環境をつくる事は大人に課せられた責任でもあります。

練馬区では、家庭、学校、地域社会そして関係団体が協力し合い長年にわたり青少年の健全育成活動に取り組んでいます。

その一環として地域の商店に「健やか運動協力店」にご加入いただき、地域で青少年を温かく見守る環境づくりを進めています。

現在、谷原地区には117店舗(昨今コロナ禍もあり2店舗の廃業。新規3店舗)加入いただき、子どもたちの見守りと日常の安全安心の為に日頃から温かい気持ちでご協力いただいています。

谷原地区委員会では、練馬区に委託され青少年の健全育成を図るため、不健全雑誌自動販売機等、青少年の健全な成長に好ましくない影響を与える恐れのある地域環境の実態を把握し、青少年の育成活動推進として谷原区域のコンビニエンスストアを対象に毎年調査を行っています。

今年度は地区内17店舗全店にて成人雑誌の取り扱いはありませんでした。

最後に調査の際に協力店から伺ったお声を一部紹介いたします。

- ・ゴミ箱を設置しているが一部ポイ捨てしてしまう子どもが見受けられる。
- ・小中学生が利用するが問題ない。
- ・大人よりルールを守ってきてくれる。
- ・下校途中“石けり”をして店舗のドアに当たったので「気を付けてね」と声掛けをした。

協力店の皆様、ご協力ありがとうございました。私たちはこれからも引き続き青少年の健全育成に努めていきたいと思ひます。

おめでとうございます

長年にわたり、地区委員として地域の子どものためにご尽力くださっている方々が、練馬区長より感謝状を受けられました。

《練馬区青少年育成地区委員会感謝状》

【在任15年】

- 齊藤 由美子 (富士見台小校区)
- 高橋 黄三 (富士見台小校区)
- 林 淳 (南が丘小校区)
- 瀧澤 哲也 (南が丘小校区)



【在任7年】

- 川崎 能央 (北原小校区)
- 岩間 千寿 (富士見台小校区)
- 八代 直子 (富士見台小校区)
- 加藤 有紀 (石神井東小校区)
- 飯野 明 (石神井東小校区)
- 三瓶 鈴子 (南が丘小校区)
- 鳴海 浩一 (南田中小校区)



《編集後記》

コロナが落ち着き、様子を見ながら事業を再開した昨年度に比べ、はるかに元気に、日常を取り戻しながら子どもたちの笑顔を見られた一年となりました。育成に携わる皆さんと保護者の方々のご協力の賜物と感謝しております。